

# 顎顔面口腔領域の筋肉と表情の相関

①上唇鼻翼挙筋  
→上唇と鼻孔外縁を拳上

②上唇挙筋  
→上唇を拳上  
過剰な場合ガミースマイル

③小頬骨筋  
→上唇を拳上

④大頬骨筋  
→口角を拳上

⑤笑筋  
→口を横に引っ張る  
過剰な場合いわゆる口裂け顔

⑥口輪筋  
→口唇をすぼめる

⑦口角下制筋  
→口角を下に引っ張る  
過剰な場合口角下垂

⑧下唇下制筋  
→下唇を下に引っ張る

⑨オトガイ筋  
→下唇を下に引っ張る  
過剰な場合いわゆる梅干し皺

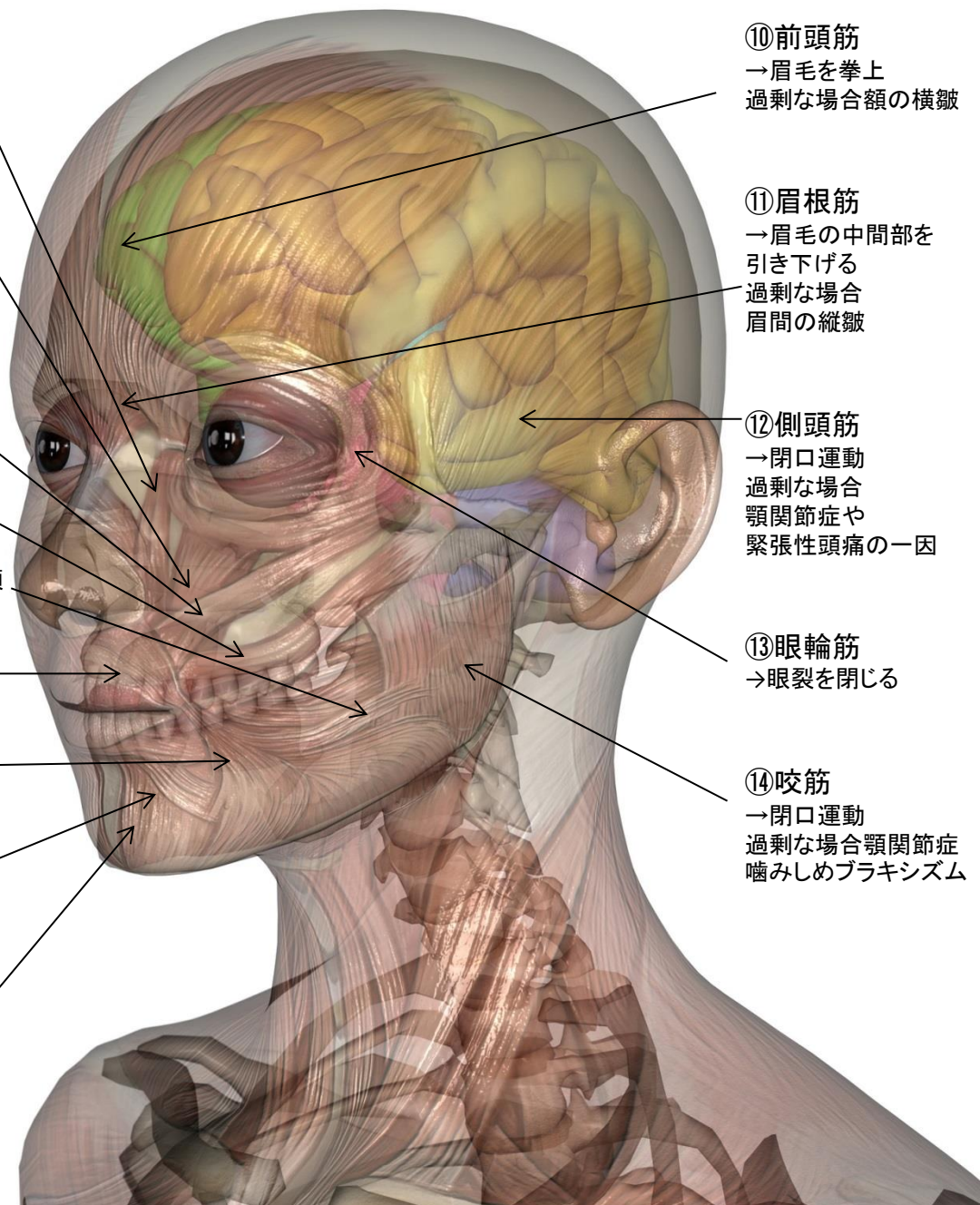
⑩前頭筋  
→眉毛を拳上  
過剰な場合額の横皺

⑪眉根筋  
→眉毛の中間部を  
引き下げる  
過剰な場合  
眉間の縦皺

⑫側頭筋  
→閉口運動  
過剰な場合  
顎関節症や  
緊張性頭痛の一因

⑬眼輪筋  
→眼裂を閉じる

⑭咬筋  
→閉口運動  
過剰な場合顎関節症  
噛みしめブラキシズム



## ボツリヌストキシン製剤による治療の例（ボトックス®・ニューロノックス®の単位）

・ガミースマイルに対して  
②上唇挙筋と③小頬骨筋の停止部近傍に1単位

・口裂け顔に対して(医科)  
⑤笑筋に2単位

・口角下垂に対して(ヒアルロン酸治療と併用)  
⑦口角下制筋に対1単位

・いわゆる梅干し皺に対して(オトガイ部は医科)  
⑨オトガイ筋に2単位

・額の横皺に対して(医科)  
⑩前頭筋に4~8か所 各1単位

・眉間の縦皺に対して(医科)  
⑪鼻根筋に2単位

・緊張性頭痛に対して(医科)  
⑫側頭筋に2~3か所 各5単位

・顎関節症に対して(ブラキシズム等含む)  
⑭咬筋に1~3か所 10単位+5単位+5単位

\* 治療の例は参考値としていただき、個人差を考慮の上施術してください。